

道徳科 家庭学習用ワークプリントの（例）中学校

教材を読んで終わりにならないために

読んで感想を書かせるだけでは、道徳科の目標に応じた学習は成立しません。教材を読んだ後、2～3つ程度の発問が必要です。

あらすじの紹介

大まかに教材のあらすじを紹介しておく、内容理解の助けになります。また、「家族の大切さについて考えましょう。」等のテーマをあらかじめ、ワークプリントに記載しておくことも考えられます。

発問の設定

① 2つの視点で設定し、2つの視点で評価を行う。

- 様々な視点から考えさせたい。（多面的・多角的に考える）
- 自分事として考えさせたい。（自己を見つめる）

② 単なる読み取りになるような発問は設定しない。

- 教材に書かれている文章や言葉が答えになるような発問は、道徳科の発問とは言えません。道徳科のNG発問です。

発問の参考例

- 主人公Aは、～な行動をとりましたが、他にどのような行動が考えられますか。それはなぜですか。
- 主人公Aは、～の場面で、なぜ迷っていると思いますか。あなたは、この場面でどのように考えますか。
- 主人公Aは、この後、どのような行動をとったと思いますか。また、その理由も考えて書いてください。
- この教材での出来事は、どんなところが問題点だと思いますか。
- この教材を読んで、これからのあなたにとって大切と思えるのは、どのようなことですか。
- 「本当の思いやり」とは、どのようなものだと思いますか。
- あなたは、これからどんなことができそうですか。 等

東京書籍 1年 「ふるさとのために」

道徳科 家庭学習ワークプリント 「ふるさとのために」
1年（ ）組 名前（ ）

1. 教材を読みましょう。

「ふるさとのために」は、岐阜県の中학생が書いた作文です。作者は自分が大人になったときのことを想像し、ふるさとへの思いを作文にしています。どのような思いをもっているのでしょうか。教科書35～37ページを読んでみましょう。

2. 作者は、ふるさとのよさを様々な角度から述べていました。あなたは、自分の住んでいる町や大分県のすばらしいところは、どんなところだと思いますか。小学校時代も含め、これまでの学習の中で学んだことを参考にしながら書いてみましょう。

発問の意図

ふるさとのよさについて、改めてじっくり考えさせたい。また、ここでは、自分の居住地の事だけではなく、大分県という広い視野からも、これまでの学習を踏まえ振り返らせたい。

3. 作者は、ふるさとのために様々なことをしていきたいと述べていましたが、あなたはどんなことをしたいですか。「今すぐにできそうなこと」と「時間はかかるかもしれないが、やってみたいこと」の2つを書いてみましょう。

発問の意図

これまでの学習を踏まえ、現実的な取組と将来的な取組の2つの視点から、多面的・多角的に考えさせたい。